

あなたが選ぶおすすめ本ベスト3と 図書館の思い出

摂津市民図書館30周年ありがとうイベント



摂津市民図書館30周年ありがとうイベント

あなたが選ぶおすすめ本ベスト3と図書館の思い出

《もくじ》

1. 図書館の思い出

- ・ 遠い所でも近い存在で… ……2
- ・ 図書館と子供の頃の私 ……3
- ・ コンクールへの思い出 ……3
- ・ 大きな大きな「はらぺこあおむし」 ……4
- ・ 親子で図書館 ……4
- ・ 司書さん ……5
- ・ わたしと大好きな本 ……5
- ・ これからもずっと友達！ ……6
- ・ 無題 ……6
- ・ 摂津市こども図書館 ……7

2. あなたが選ぶおすすめ本ベスト3 ……8

図書館の思い出

【遠い所でも近い存在で…】

市民図書館が出来る前迄は、かつての総合福祉会館にあった児童文化センター内の読書室で、本を借りる事が多かったです。

当時私は小学生だったので、少し遠かった市民図書館は特別な存在 意外と近い感じがあると思いました。

そして、自転車で行き来するようになり、主に朝日新聞が発行した「少年朝日年鑑統計編」が目当てで、自分だけの将来・未来を予想していました。

年を重ねていくうちに、2階レファレンス室へも行き、その蔵書のページをめくっては、予想してみる、そんな図書館の過ごし方をしていました。

今でも、蔵書本を拾って見るのが好みで、必要な際には本を借りる事もありますが、市民図書館での利用は大いに親しみを持ちつつ、公共施設の活用の一つにもなっていると思います。

千里丘東／男性（四十一歳）

【図書館と子供の頃の私】

だいたい16が19くらいの頃は毎日行ってCDかりまくってた。

たぶんその頃は(1994-1997くらい)だからAudioかられる図書館自体が少なくて、中央が改装された時には、すごく刺激的だったの憶えてる。

もしかしたら、発注の人が変わりものだったのかわからないが、めっちゃめっちゃな品ぞろえで、16か19の子供には刺激が強すぎた。すげかった…。

Todd RundgrenやFrank Zappa、Japanの全アルバムがそろった。

そっういのつてどうしても影響つけちゃうの。

Toddの「Runt」やJapanの「Tin Drum」はすげー聞いた。

今でもとても好き。よくは聞かないけど感動おぼえてる。

まあー言いたいことは、図書館にはずい分世話になったってこと。

自分一人じゃ見つけられないものを教えてくれた。たくさん。

知り合いの詩の一説「おかしかったけどうれしかったありがとう。」

男性(三十歳)

【コンクールへの思い出】

小学一年時から、夏休みの読書感想文コンクールに、図書館で本を借り、10年間挑戦しました。



野々北／男性(十六歳)

【大きな大きな「はらぺこあおむし」】

息子は大きな大きな絵本を大事にかかえ、自転車の後ろ座席に乗った。

今日は特別。3才の誕生日。

お友達も呼んで、パーティーしよう。

いつもはこんな大きな本

ダメっていうけど、

今日は借りていいよ。

「大丈夫？」心配で

何度もふりむいたけど、

いつ見ても、息子は満面の

笑みを浮かべていた。

それから12年。

私は再びこの絵本を借りた。

そして小学校の子どもたちの前で読んだ。

どの顔もどの顔も、あの時の息子と同じ、満

面の笑みを浮かべていた。



東正雀／女性（五十一歳）

【親子で図書館】

四ヶ月検診で、絵本のプレゼントを頂いたのがきっかけで、図書館に通うようになりました。

子たちも小6・小3になりましたが、今でも月に一、二回は親子で利用させて頂いています。

「読書は心の栄養」と言われますが、子育てしている自分の心を、読み聞かせの絵本でいやされた事が幾度もありました。

今では、我が子は小さな活字の本を、私は絵本コーナーで…と、少し「逆」の様な気もするのですが、堂々と楽しんでいます（笑）。

千里丘／女性（四十三歳）

【司書さん】

日曜日、図書館に行くと、映画会のプリントを笑顔で渡してくれる司書さんが印象的です。

いつも「おはようございます。今日は○○です」と言って、3階に行くと笑顔で迎えてくれます。

図書館は本が大好きな私にとって、一番落ちつける場所です。

これからも、笑顔のステキな司書のみなさん応援してます。



昭和園／女性（十七歳）

【わたしと大好きな本】

わたしは本が大好きで、いつも本を読んでいきます。

ときどき図書館に来て本をかりています。

わたしはこの図書館の本が大好きです。

理由は、いつもきれいにならべられていて、おもしろい本、勉強の本がたくさんあります。

本はいつもみるとき、きれいなので、わたしもいきぶんになります。

図書館ではたらいにいる人、本をとってもきれいにならべてくれて、ありがとございます。

千里丘／女性（十歳）

【これからもずっと友達！】

若さの代名詞のように“戦争を知らない子供達”と云われていた私達も早や、介護保険料を払う年令となった。

思えば団塊の世代で生まれ育った私は学生時代・独身時代・そして子育て中と、人生の歩みの中で図書館は、いつも安らぎの場であった。

幸いにして、共に人生を歩んでくれる伴侶が本好きとあって、図書館通いには、何より優先と理解を示してくれ、読書の時間を暖かく協力してもらえたのは、有難い幸せといつも感謝している。

後何年自分の足で大好きな図書館通いができるかは“神のみぞ知る”処だが、物心ついた頃から始まった本を読む喜びを、まだ々これからもずっと続けたいと願っています。

鳥飼中／女性（六十七歳）

【無題】

月に十回ほどお世話になっております。

東淀川／男性（八十二歳）

【摂津市子ども図書館】

味舌町に育って、図書館がないのは、本当に寂しいことであった。今年、摂津市民図書館は、開館30周年の記念すべき年を迎える。

20代に、阪神間の公立図書館に勤務したことがある。

カウンター業務に従事していたある日、30代と思しき、子連れのアメリカ人女性が、突然私に向かって「私のふるさとは、この図書館の大きさの子どもの図書館があるのよ」と、のみ語り、にっこり微笑んだのであった。

今年、摂津市は、行政の重点課題として、「子育て環境」を打ち出した。育った子どもたちは、幼稚園・小学校へと進み、やがて自ら本を選択し、読むようになることであろう。

しかし、時代はネット社会で、小学生も情報機器に習熟し、友だちとのコミュニケーションの維持に夢中になっている。子どもたちを取り巻く読書環境は、時代の進展につれて困難が増しても、スムーズに流れるように、読書にいそしむ環境とはなり得ないことであろう。読書環境づくりの、新たな努力が求められることとなる。

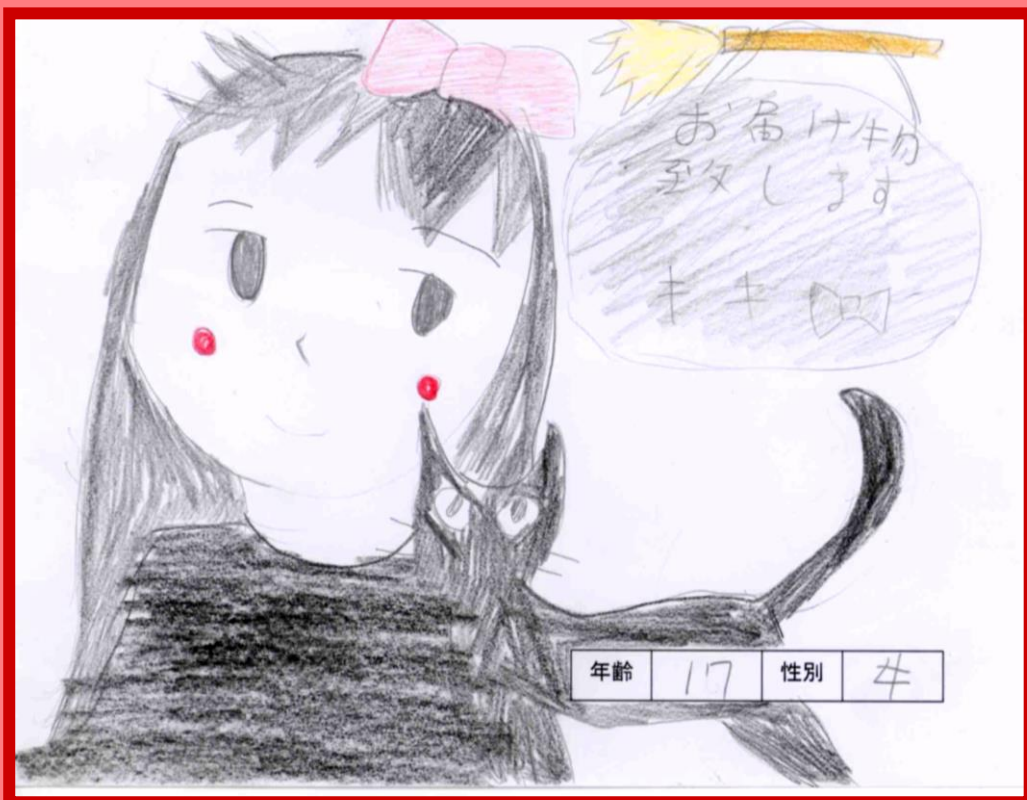
「子育て環境」重視の政策の、その方向軸の先に、北摂でも、全国的にも、まだ稀有な、独立した「摂津市こども図書館」へと至らないものであろうか。

30年目の、私だけの夢に終わらないことを願って。

正雀本町三丁目／男性（六十九歳）

あなたが選ぶおすすめ本ベスト3

魔女の宅急便



- | | | |
|--------------------|----------|--------|
| ◇ 『阪急電車』 | 有川 浩/著 | 幻冬舎 |
| ◇ 『パパママムスメの 10 日間』 | 五十嵐 貴久/著 | 朝日新聞出版 |
| ◇ 『魔女の宅急便』 | 角野 栄子/著 | 福音館書店 |

しゅくだいさかあがり



◇『しゅくだいさかあがり』

福田 岩緒/著

PHP研究所

◇『おかあちゃんがつくったる』

長谷川 義史/著

講談社

◇『やまださんちのてんきよほう』

長谷川 義史/著

絵本館

◇『星のウサギとかくれんぼ』

奥沢 しおり/著 フレーベル館

◇『おばけが恋の挑戦状！』

奥沢 しおり/著 フレーベル館

◇『星の迷子はヒミツがいっぱい』

奥沢 しおり/著 フレーベル館

星のうさぎとかくれんぼは、キラがもうおわかれする
ので、宮本にあまりかまわない。じゅりは、キラのことと、星
のしゅくだいがしんぱい

星の迷子はヒミツがいっぱい
は、同じクラスの女の子さんが
ペットのネコがまいご...
じゅりは、ジュエルをみつけて、
じゅりがエトワールになれると思ってる

年齢

10

性別

女

星のウサギとかくれんぼ

◇『冒険者たち-ガンバと十五ひきのなかま-』

斎藤 惇夫/著 岩波書店

◇『ウォーターシップ・ダウンのうさぎ達』

リチャード・アダムズ/著 評論社

◇『二分間の冒険』

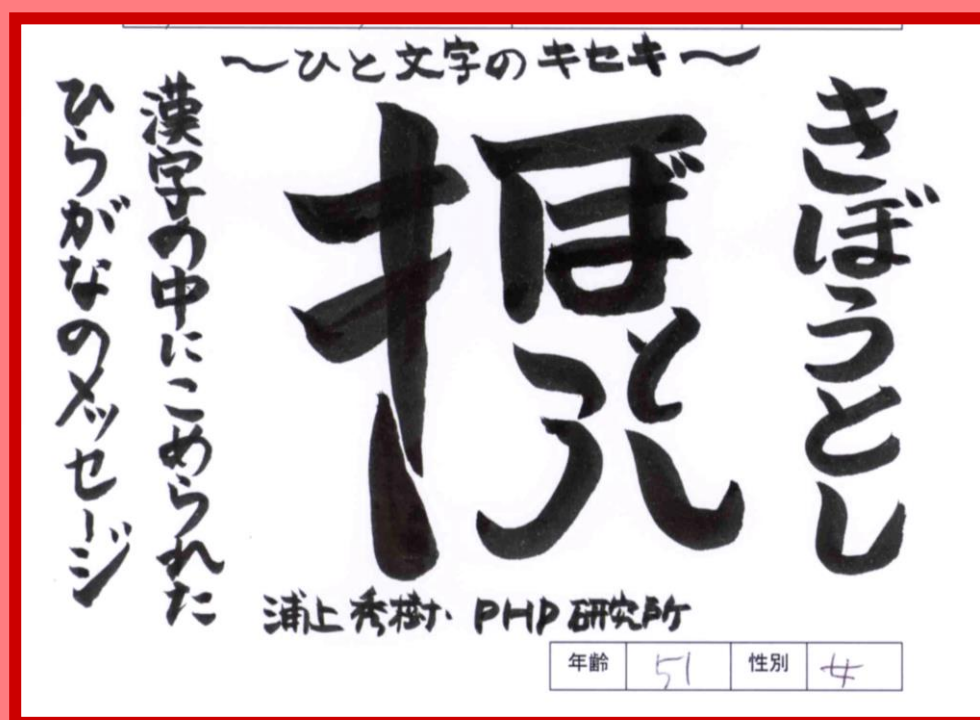
岡田 淳/著 偕成社

おそろしいイタチのノロイに
おそわれた島を救うため、
危険をかえりみず船に乗る
町ネズミ ガンバと15ひきの個性
豊かな仲間がくりひろげる一大冒険記

年齢	30	性別	女
----	----	----	---

冒険者たち
-ガンバと十五ひきのなかま-

ひと文字のキセキ



◇『ひと文字のキセキ』

浦上 秀樹/著

PHP研究所

◇『神様からの宿題』

山本 育海/著

ポプラ社

◇『夢・ありがとう』

杉浦 誠司/著

サンマーク出版

◇『空想科学読本シリーズ』

柳田 理科雄/著

メディアファクトリー

◇『中学時代にしておく50のこと』

中谷 彰浩/著

PHP研究所

◇『名犬チロリ』

大木 トオル/著

マガジンハウス



名犬チロリ



『そのつもり』

荒井 良二／著

講談社

そのつもり

◇『○に近い△を生きる』

鎌田 実／著

ポプラ社

◇『下りのなかで上りを生きる』

鎌田 実／著

ポプラ社

74歳（男性）

◇『涼宮ハルヒの憂鬱』

谷川 流/著 角川書店

◇『雨の降る日は学校に行かない』

相沢 沙呼/著 集英社

◇『世界にひとつだけの本』

北阪 昌人/著 PHP研究所



涼宮ハルヒの憂鬱

ステップファーステップ



◇『ステップファーステップ』

宮部 みゆき/著

講談社

◇『僕は友達が少ない』

平坂 読/著

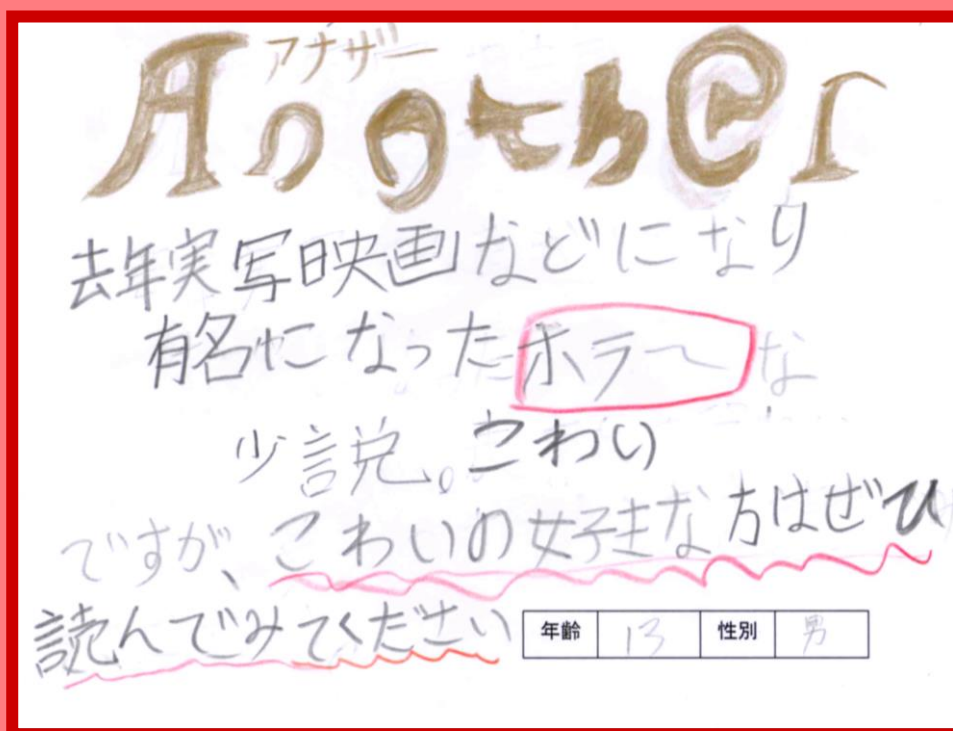
メディアファクトリー

◇『キノの旅』

時雨沢 恵一/著

メディアワークス

- ◇『もし高校野球の女子マネージャーが
ドラッガーの「マネジメント」を読んだら』 岩崎 夏海/著 ダイヤモンド社
- ◇『アナザー』 綾辻 行人/著 角川書店
- ◇『海の底』 有川 浩/著 メディアワークス



アナザー

THE 日本

THE 日本 (1986年発行 講談社)

1986年当時の日本の「今」や
伝統や風習を、百科辞典風に
残しているのがミソです。
現在では追えとまわっている部々も
あり、本自体も廃刊であるが故に、
他の図書館には無い貴重さが、
厚いページ内収めています。

おすめのページは
498・499ページ (糸あやめ
「日本髪」です。マフはいる)

把もて箱の工賃が
乗っているか
1986年



貴族の
正面写真が
無いから
うしろ
ん張っている
(私談)

年齢	41歳	性別	男性
----	-----	----	----

◇『THE 日本』

講談社

◇『サン・セバスチャン/殉教』

集英社

◇『全国市町村要覧』

市町村要覧編集委員会/編

第一法規

◇『和菓子のアン』

坂木 司/著

光文社

◇『植物図鑑』

有川 浩/著

角川書店

◇『阪急電車』

有川 広/著

幻冬舎



和菓子のアン

ミッキーマウスの大冒険

ミッキーマウスの大冒険

頭の良いミッキーマウス
がたくさんの仲間
達と、大冒険をしていく。
楽しいお話です。



年齢

14才

性別

女

◇『かさねちゃんにきいてみな』

有沢 佳映/著

講談社

◇『ミッキーマウスの大冒険』

ウォルト・ディズニー/著

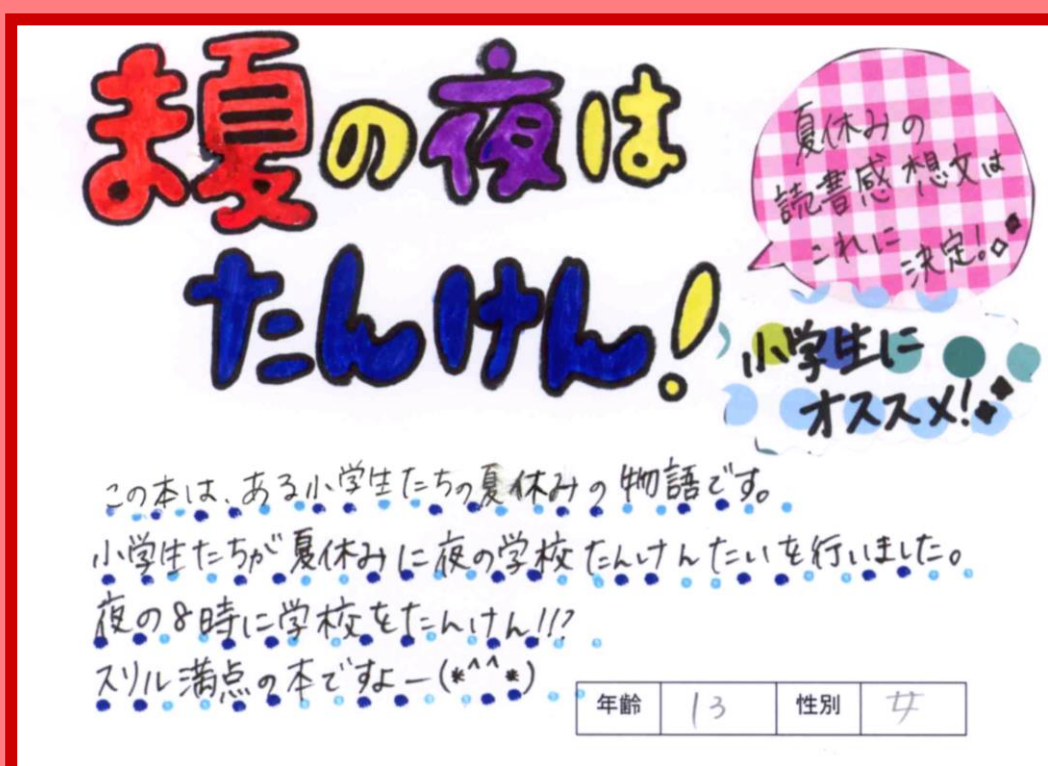
講談社

◇『のぼるはがんばる』

東 君平/著

金の星社

ま夏の夜は、たんけん！



◇『プカプカチョコレート島こおりの国のにんじゃ』

原 ゆたか/著

あかね書房

◇『赤い本』

緑川 聖司/著

ポプラ社

◇『ま夏の夜は、たんけん！』

後藤 竜二/著

新日本出版社

◇『ルナ・チャイルド① ニーナと魔法宇宙の月』

ムーニー・ウィッチャー/著

岩崎書店

◇『サーティーナイン・クルーズ① 骨の迷宮』

リック・ライオダン/著

メディアファクトリー

◇『ミッドナイトーズ① 真夜中に生まれし者』

スコット・ウェスターフェルド/著

東京書籍

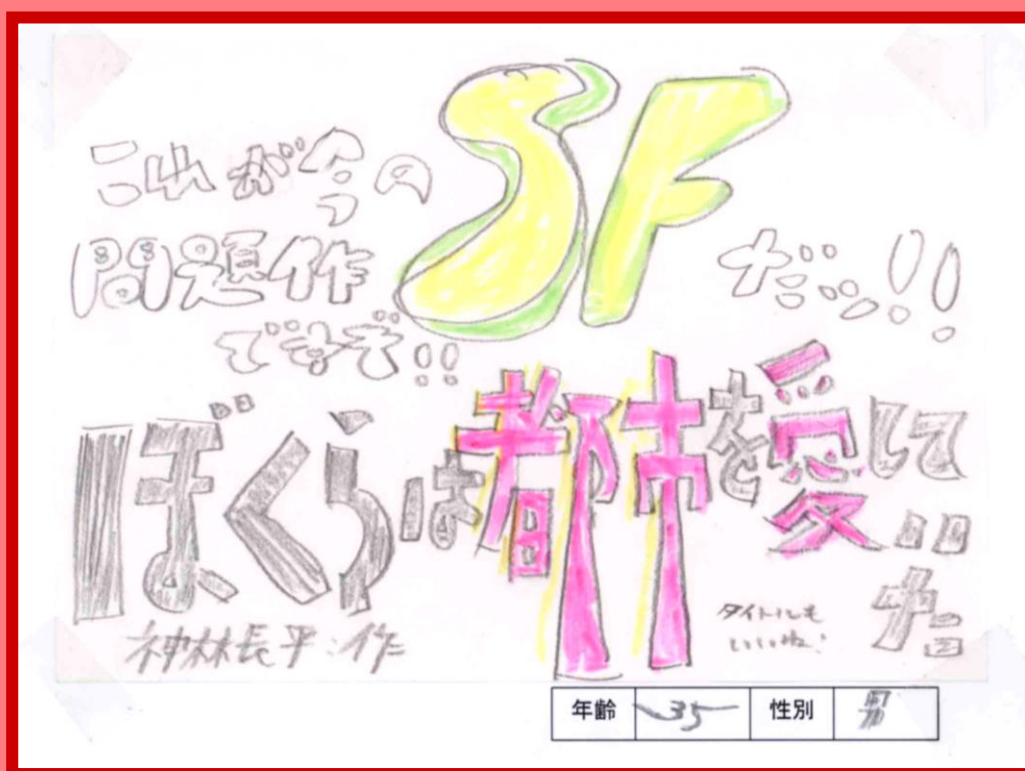


サーティーナイン・クルーズ

◇『ぼくらは都市を愛していた』 神林 長平/著 朝日新聞出版

◇『みんな、どんなふうに通って生きてゆくのか?』
西村 佳哲/著 弘文堂

◇『神聖喜劇 1~6 巻』 大西 巨人/著 幻冬舎



ぼくらは都市を愛していた

パンとペン 社会主義者・堺利彦と「売文社」との闘い

「パンとペン」は労作である。

著者の黒岩比佐子は、本書の元版を、2010年10月に刊行したが、その直後の11月に、急逝された。「パンとペン」は、彼女の遺著である。

幸徳秋水に代表される、明治の社会主義者の活躍は、大逆事件の過酷な弾圧で、いわゆる、冬の時代を迎える。幸徳と二人三脚の活躍をした堺利彦は、この冬の時代を、いかに生き延びることができたのか。

堺は、あらゆるジャンルの文章を、商売の種とする「売文社」を興す。そこには、堺の温かい人柄と叡智、組織力が充溢していた。

従来から、荒畑寒村などの著作によって、売文社の存在は周知されてはいたが、その組織の中心人物たる堺の側から、詳細に描いた著述は皆無であった。著者の黒岩比佐子は、堺の事跡について、実に丹念に資料を博搜し、また、自らも新資料を発掘し、ついに売文社の全貌を明らかにすることに成功した。

行き届いた行文は、売文社の陣頭指揮を執った堺利彦の人的魅力を、まざまざと浮き彫りにする。このような柔軟、かつ筋の通った魅力的な人物を、時代を超えても、他に求めるのは困難である。

年齢

69

性別

男

◇『いのちの初夜』

北條 民雄/著

角川書店

◇『苦海浄土』

石牟礼 道子/著

講談社

◇『パンとペン -社会主義者・堺利彦と「売文社」との闘い-』

東 君 /著

講談社

だいじょうぶだいじょうぶ



◇『だいじょうぶだいじょうぶ』

いとう ひろし/著

講談社

◇『ゆうきをだして』

くすのき しげのり/著

佼成出版社

◇『ともだちや』

内田 麟太郎/著

偕成社

◇『ねこさんかぞくのみどりのカーテン』 津田 直美/著 ブロンズ新社

◇『うらないうららちゃん』 もとした いづみ/著 ポプラ社

◇『しずくちゃん』 きぼ りつこ/著 岩崎書店



ねこさんかぞくのみどりのカーテン

◇『ミレニアム (シリーズ)』

ステイーグ・ラーソン/著

早川書房

◇『神々の山嶺』

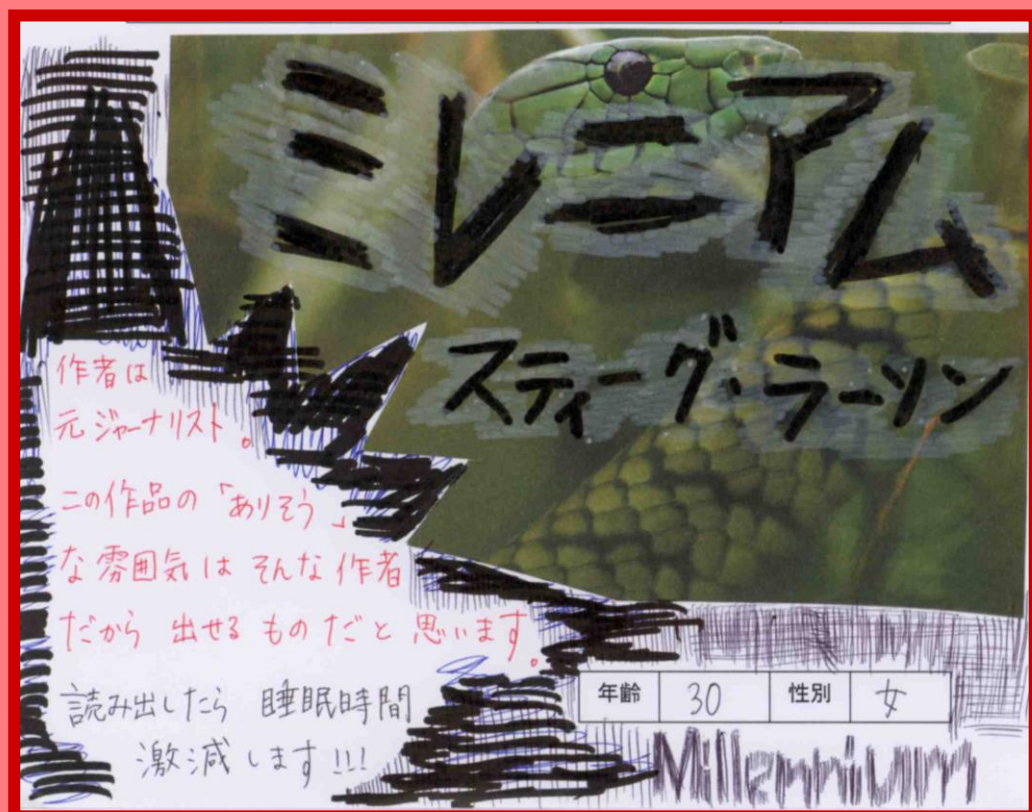
夢枕 獏/著

集英社

◇『博士の愛した数式』

小川 洋子/著

新潮社



ミレニアム(シリーズ)

篠田 節子3作品

何故3冊とも同じ作家か？ それ、オモシロイからでしょ。Aは伝染病がBは新興宗教がテーマのお話。Cは1級のホラー。映像化もされていないので知名度は有りませんが、馬鹿されたと思って読んで！「オモシロかった」と言わせる自信有ります！尚彼女の作品中1番有名？「女たちのジハード」直木賞授賞作は選びませんでした。これもオモシロイです。

年齢	54歳	性別	男
----	-----	----	---

◇『夏の災厄』

篠田 節子/著

毎日新聞社

◇『仮想儀礼』

篠田 節子/著

新潮社

◇『神鳥-イビス-』

篠田 節子/著

集英社

◇『リアル・ファッション』

ソフィア・ベネット/著

小学館

◇『はっぴいさん』

荒井 良二/著

偕成社

◇『雪と珊瑚と』

梨木 香歩/著

角川書店



リアル・ファッション

林 真理子作品



◇『野心のすすめ』

林 真理子/著

講談社

◇『心』

姜 尚中/著

集英社

◇『聞く力』

阿川 佐和子/著

文藝春秋

おすすめ本の書名	著者名	出版社
桜 ほうさく	宮部 みゆき	PHP研究所
ソロモンの偽証	"	新潮社
麒麟の翼	東野 圭吾	講談社

年齢	67才	性別	女
----	-----	----	---

1984年(昭和59年)7月1日に開館した摂津市民図書館は、
2014年(平成26年)7月に30周年を迎えることとなりました。
その記念企画として『図書館の思い出』と『あなたが選ぶおす
すめ本ベスト3』を募集しましたところ、沢山のご応募を頂きまし
た。ありがとうございます。





2014年7月発行

摂津市民図書館

〒566-0023 摂津市正雀4丁目9番25号

電話 06(6319)0577

<http://www.library-settsu-osaka.jp/toshow/>